

西脇市立西脇病院
改革プランの推進状況
(平成26年度)

平成27年2月23日

目 次

I 平成26年度12月末の収支状況

1 概況	P3
2 収支状況	P4
3 経営指標	P5

II 改革プランの目標進捗状況

1 基本事項	P6
2 医療の質の向上	P7 ~
3 経営資源の強化	P11 ~
4 職員の確保と意欲向上	P20 ~
5 再編・ネットワーク化	P23 ~

I 平成26年度12月末の収支状況

1 概況

1日当たり入院患者数は263.7人(前年同月288.1人)、外来患者数は592.6人(同600.5人)となり、それぞれ前年度より減少している。病床稼働率についても82.4%(同90.0%)と減少している。

当年度純損益は、20億8,365万円となり、前年度(9,503万円)と比較すると大きな赤字となっている。これは、会計制度の変更に伴い退職手当引当金等を積立てたからである。

2 収 支 状 況

(単位:百万円)

区 分		H25年度 12月末累計	H26年度 12月末累計	対前年		
				増減	比率(%)	
収 益	総 収 益	5,924	5,739	△185	96.9	
	医 業 収 益	5,832	5,404	△428	92.7	
	うち	入 院 収 益	3,955	3,634	△321	91.9
		外 来 収 益	1,349	1,362	13	100.1
		そ の 他	528	408	△120	77.3
	そ の 他 の 収 益		92	335	243	364.1
費 用	総 費 用	5,828	7,823	1,995	134.2	
	医 業 費 用	5,593	5,625	32	100.6	
	うち	職 員 給 与 費	3,169	3,069	△99	96.8
		材 料 費	1,230	1,212	△18	98.5
		経 費	841	856	15	101.8
		減 価 償 却 費	323	460	137	142.4
		そ の 他	30	28	△2	93.3
そ の 他 の 費 用		235	2,198	1,963	1770.6	
差 引	経 常 損 益	95	△6,889	△6,794	—	
	純 損 益	95	△2,084	△1,989	—	

3 経営指標

区 分		単位	H26年度 目標	H25年度 12月末実績	H26年度 12月末実績	対前年		評価	
						増減	比率(%)		
業 務 量	患 者 数	1日当たり 入院患者数 (病床稼働率)	人	290	288.1	263.7	△24.4	91.5	C
			%	90.6	90.0	82.4	△7.6	91.5	
		平均在院日数	日	15.0	14.4	14.1	△0.3	97.9	A
		1日当たり 外来患者数	人	600	600.5	592.6	△7.9	98.7	C
	診 療 単 価	入 院	円	49,500	49,929	50,106	177	100.4	A
		外 来	円	12,500	12,076	12,490	414	103.4	A
		入院・外来収益	億円	70.7	53.0	50.0	△3.0	94.3	C
財 務 指 標	経 常 収 支 比 率	%	100.3	101.6	99.9	△1.7P	—	C	
	職 員 給 与 費 比 率	%	57.1	54.3	56.8	2.5P	—	C	
	材 料 費 比 率	%	22.5	20.8	22.4	1.6P	—	C	
	経 費 比 率	%	16.9	14.4	15.8	1.4P	—	B	

Ⅱ 改革プランの目標進捗状況

1 基本事項

(1) 今後果たすべき役割		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 3.0テスラMRIの運用強化 ▪ 地域医療支援病院の承認要件を維持 ▪ 認定看護師資格の取得(緩和ケア認定看護師) ▪ 神戸大人材育成拠点形成プログラムの受講 	自己評価
		—
(2) 一般会計繰出金		
取組状況	<p>【26年度 総額 10億97百万円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 総務省繰出基準の負担 [収益的収支6億74百万円 資本的収支2億23百万円] ▪ 総務省繰出基準外の負担 [資本的収支2億円] 	自己評価
		—
(3) 病院と地域の連携		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 第6回西脇病院フェスタの開催 (小児医療を守る会、商業連合会、医師会、市民との共同実施) ▪ 市民フォーラム、地域医療検討会への参加 ▪ 「西脇市の地域医療を守る条例」に対応した普及啓発の強化 	自己評価
		—

2 医療の質の向上

(1) がん治療の医療体制の構築

主な取組目標	a がん診療連携拠点病院の継続	取組状況	<p>a. 肺がん手術の実施、常勤病理診断医の配置、緩和ケア提供体制の充実などがん診療連携拠点病院の指定更新に向けた体制整備を進めている。</p> <p>b. 関係各科と調整が始まったところである。</p> <p>c. 主治医が緩和ケアチームと連携し迅速かつ適切にがん患者の苦痛に対応できるよう院内統一の緩和ケアスクリーニング手法の導入を進めている。</p> <p>d. がん患者緊急時対応リストの管理を行っている。</p> <p>e. 前年度の同時期と比較すると、乳癌、子宮癌、前立腺癌、内科系腫瘍マーカー、胃癌リスクの検査については、同水準であるが、肺癌検査については、大幅に減少している。</p> <p>f. 平成26年度には緩和ケア認定看護師（1名）の資格を取得した。現在、がん化学療法看護認定看護師育成に取り組んでいる。</p>	自己評価	
	b 緩和ケア食の構築			c 緩和ケアチームへの協力	d 病診連携の強化

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	新入院がん患者	(人)	1,034	1,360	1,500	970	C
	放射線治療	(人)	2,074	2,495	2,500	1,743	C
	外来化学療法	(人)	1,091	1,228	1,340	1,000	B
	3がん <small>(子宮、肺、乳)</small> 合計検診	(人)	778	943	940	671	C
	高度機器 <small>(CT,MRI,RI,マンモ)</small> 撮影件数	(件)	23,204	24,565	29,550	17,814	C

[評価方法 A:実績>目標 B:目標>実績>前年 C:目標・前年>実績]

2 医療の質の向上

(2) 脳卒中治療の病病、病診連携体制の構築

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a クリニカルパスの効果的な運用 b 3.0テスラMRIの運用 c 認定看護師の育成(脳卒中リハ) d 認定看護師の育成(摂食嚥下障害) 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. クリニカルパスの効率的な運用のため、圏域内の連携病院を増やしていく。 b. 平成26年7月からフル稼働している。1.5倍を目標に取り組んでいる。 c. 平成23年度から脳卒中リハビリテーション認定看護師を配置し、充実した脳卒中看護を提供している。 d. 摂食・嚥下障害看護認定看護師を入院棟に配置し、NSTなどの活動を行っている。 	自己評価
	—			

主な実績	項 目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	パスによる紹介件数	(件)	170	180	215	88	C
	脳卒中(脳外科)入院件数	(件)	663	521	—	—	—

2 医療の質の向上

(3) 幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 糖尿病教室 b. 外来や予防指導の充実 c. 糖尿病患者への栄養指導 d. 専門知識を持つスタッフの育成 e. 糖尿病認定看護師の資格取得の育成と支援 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 毎月(1月・8月を除く)継続して、参加型糖尿病教室を実施している。糖尿病教育入院も継続中である。 b. 昨年度同様、栄養士側から継続指導の依頼・提案を行っている。 c. 患者の理解状況に応じて、指導を行っている。 d. 糖尿病療養指導士を中心に、院内研修の企画実施、さらに院外研修や学会に積極的に参加支援を行っている。 e. 糖尿病看護認定看護師を育成中である。 	自己評価 —
--------	--	------	--	---------------

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	入院	透析 (件)	1,217	1468	1,500	715	C
	外来	透析 (件)	5,325	5,797	5,500	4,090	C
	栄養指導合計 (件)		697	1,515	1,500	1,319	A
	NST介入件数 (件)		778	906	900	681	A

2 医療の質の向上

(4) 資格取得などによる医療提供力の強化

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 認定看護管理者教育課程(ファーストレベル2名)受講 b. 緩和ケア認定看護師認定審査受験 c. 日本看護協会認定看護師(糖尿病看護認定看護師)など資格・認定等の取得 d. 神戸大学の医師・コメディカル統合的人材育成拠点形成プログラムの各コース受講(高齢者看護・災害救急エキスパート・低侵襲治療) e. その他専門分野の資格取得への育成と支援 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. ファーストレベル受講: 1名修了 b. 緩和ケア認定看護師: 1名認定 c. 糖尿病看護認定看護師: 1名受講中 がん化学療法看護認定看護師: 1名受講中 d. 高齢者医療コース1名受講 災害救急医療コース1名受講 e. 臨床研修指導医講習会: 2名受講予定 				自己評価
			-				
主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	資格・認定取得者数	(人)	11	7	8	8	A

3 経営資源の強化

(1) 入院収益の確保

主な取組目標	a. 7対1入院基本料の維持 b. 診療報酬改定の対策 c. DPC分析	取組状況	a. 7対1入院基本料を維持するため継続的な看護職員の確保に努めながら、重症度、医療・看護必要度の評価項目の見直し等への対応を行っている。 b. 診療報酬改定に適切に対応するため、全職員に対する研修会を実施した。 c. 個別分析し、収益確保に繋げていきたい。	自己評価
	-			

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	1日平均入院患者数	(人)	274.1	287.4	290.0	263.7	C
	病床稼働率	(%)	85.7	89.8	90.6	82.4	
	1人1日入院診療単価	(円)	46,716	49,691	49,500	50,106	A
	入院収益(1月当り)	(億円)	3.89	4.34	4.3	3.6	C

3 経営資源の強化

(2) 外来収益の確保

主な取組目標	a. 救急患者の積極的な受入れ	取組状況	a. 時間外救急について、6月より脳神経外科当直医を加えた2人当直体制とすることで救急患者受入れ体制の充実を図った。	自己評価
	b. 専門・特殊外来の実施		b. 4月より新たに神経内科、呼吸器内科、乳腺外科を標榜することで外来収益確保に努めている。	-

主な実績	項 目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	1日平均外来患者数	(人)	550.6	600.6	600	592.6	C
	1人1日外来診療単価	(円)	11,881	12,172	12,500	12,490	B
	外来収益(1月当り)	(億円)	1.34	1.49	1.6	1.4	B

3 経営資源の強化

(3) その他収益の確保

主な取組目標	a. 人間ドックのレベルアップ	取組状況	a. 脳ドックに関し、平成26年度7月から、より高画質な画像を用いた診断を行うため3.0テスラMRIでの診断を開始した。	自己評価
	b. 受診枠の見直し		b. 脳ドックに関し、3.0ステラMRIの導入に合わせ、これまでの月、金曜日の週2日(2人/日)から月～金曜日の週5日(2人/日)へ受診枠の見直しを行った。	—

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	成人病検診	(人)	478	517	530	387	C
	一泊人間ドック	(人)	149	123	130	81	C
	日帰り人間ドック	(人)	282	392	390	333	A
	乳児・新生児健診	(人)	390	438	460	320	C
	妊婦健診	(人)	2,757	2,890	3,200	2,125	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ア 薬剤業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 薬剤師の入院棟配置 b. 抗がん剤調製の100%実施の維持（休日対応含む） c. 後発医薬品の採用促進 d. 医薬品情報等の情報提供強化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 病棟薬剤業務は、20時間/週を維持している。病棟一般注射混合業務と配薬セット業務は継続中である。 b. 抗がん剤調製業務量は、100%実施中である。 c. 26年度診療報酬改定に対応するため、数量ベースで増加できるものを平成26年6月の臨時薬事委員会で後発医薬品への切替えを検討し、72品目を順次切替えている。 d. 院内LAN等を利用し、情報提供を行うとともに、他部門と共催で勉強会等を開催し、情報の共有化を強化している。 	自己評価
				—

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	救急等指導件数	(件)	110	廃止	廃止	—	—
	ハイリスク指導件数	(件)	5,426	5,633	6,000	3,788	C
	その他指導件数	(件)	7,719	7,740	8,800	5,091	C

※平成24年度以降病棟薬剤業務の施設基準を取得したことにより、増収となった

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（イ 検査業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 検査専門分野のスタッフ育成 b. 各科からの検査要求対応（血液内科、循環器内科） c. 各科からの検査要求対応（脳神経外科、内科） 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 細菌検査、感染防止に対応できる技師を育成中である。 b. フローサイトメーター導入に伴うリンパ球表面メーカー測定に対応できるよう研修中である。心臓エコー検査、カテーテル検査への対応も進めている。 c. 脳神経外科手術中モニタリング検査への対応を実施している。 	自己評価
				—

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	超音波検査件数	(件)	6,894	8,064	8,200	6,097	B
	肺機能検査件数	(件)	1,084	1,624	1,800	1,219	B
	重心動揺検査件数	(件)	449	430	470	225	C
	脳波検査件数	(件)	418	422	450	348	A
	ABI検査件数	(件)	717	1,411	1,600	588	C
	心電図検査件数	(件)	7,518	8,709	9,000	6,331	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ウ 放射線業務）

主な取組目標	a. 3.0テスラMRIの運用	取組状況	a. 平成26年7月からフル稼働している。1.5倍を目標に取り組んでいる。	自己評価
	b. スタッフの育成		b. 今年度目標の放射線治療認定技師及び診療放射線実習施設指導等を受験中である。	—

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	C T	件数 (件)	17,245	17,626	18,200	12,159	C
	M R I	件数 (件)	4,794	5,292	7,000	4,481	B
	R I	件数 (件)	402	603	650	394	C
	マンモ	件数 (件)	763	1,044	1,200	780	B
	アングイオ	件数 (件)	229	398	450	279	C
	骨塩定量	件数 (件)	795	1,100	1,250	800	B
	一般撮影	件数 (件)	23,973	25,666	26,500	18,083	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（エ リハビリテーション業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）の算定条件を維持 b. 心臓大血管リハビリテーション料（Ⅰ）の施設基準の取得 c. 1日1人取得目標単位数は「20単位」 d. リハビリ3連休の解消 e. スタッフの育成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 現状は、維持できている。 b. 施設基準を取得できていない。 c. 12月末の平均単位数は16.6単位である。 d. 継続中である。 e. 糖尿病療養指導士等を養成する。 	自己評価
				—

主な実績	項 目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	脳血管疾患リハ単位数	(単位)	25,842	24,512	27,671	16,879	C
	廃用症候群リハ単位数	(単位)	8,192	13,373	14,138	12,098	A
	運動器リハ単位数	(単位)	12,482	15,563	16,887	12,868	A
	呼吸器リハ単位数	(単位)	87	132	100	242	A
	摂食療法リハ単位数	(単位)	81	21	100	43	B
	がん患者リハ単位数	(単位)	348	131	400	238	B

3 経営資源の強化

(5) 地域医療連携への取組

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 地域医療支援病院承認要件の維持 b. パスによる連携強化 c. 地域医療機関との連携 d. 退院調整の強化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 紹介率向上に向けて地域医療連携パンフレットを作成し連携先医療機関に送付した。 b. 脳卒中、大腿骨地域連携診療計画管理料の連携先病院の追加を予定している。 c. 病院担当医と開業医との連携にもれがないよう連携業務の整理を行っている。 d. 入院早期から、退院困難な要因のスクリーニングを行い、病棟看護師とカンファレンス後、多職種協働で退院支援を行い、在院日数の短縮を図っている。 	自己評価
	—			

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	紹介率	(%)	60.6	61.9	65.0	65.8	A
	逆紹介率	(%)	50.9	51.8	51.0	61.6	A
	退院調整加算 I	(件)	756	920	770	817	A
	介護支援連携指導	(件)	419	380	430	331	A
	退院時共同指導	(件)	91	92	95	86	A

3 経営資源の強化

(6) その他の取組・強化

主な取組目標	〔診療報酬の適切な請求等の強化〕 a. 院内研修会の定期的な実施 b. DPC分析の実施及び医師への提言	取組状況	a. 病院全体研修会、診療局研修会を実施したい。 b. 委託業者による研修会の開催や個別の分析ができるよう能力アップに努めていきたい。	自己評価 —
	〔経費削減〕 a. 業務改善の推進 b. 医薬品、診療材料の値引きの促進 c. 有料広告の活用による通信用封筒、診療費領収書の作成費節減 d. 効率的な施設運営による光熱水費節減		a. 業務改善委員会を開催し、検討を進めていく。 b. 法改正に伴い、効率的な値引き促進を行いたい。 c. 今年度も有料広告による診療費領収書などによる費用削減を行う。 d. 使用料の削減に努めている。	
	〔その他〕 a. 滞納者への職員夜間訪問の継続 b. 滞納者に対する再来自動受付機の使用制限による直接受付時の面談実施 c. 第6回西脇病院フェスタの開催 d. アートインホスピタルの開催 e. ボランティアの受け入れ f. 看護業務の平均化への取組み g. 手術室2名宅直体制への移行		a. 引続き職員による夜間訪問を実施している。 b. 滞納者に対する再来自動受付機の使用制限による直接受付時の面談督促を継続 c. 7月19日に第6回病院フェスタを開催した。 d. アートインホスピタルは開催できていない。 e. 縫製、おにぎり、造園ボランティア等を受け入れた。 f. 各部署間の応援体制の継続している。 g. 手術室の2名宅直体制に移行し継続している。	

4 職員の確保と意欲向上

(1) 医師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 公募等積極的な募集 b. 医師公舎改修計画の作成 c. 院内保育所の有効活用 d. 医師事務作業補助者による医師の事務処理の軽減化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 西脇病院の魅力のアピールとホームページによる積極的な医師募集や、業者紹介医師への対応を強化した。 b. 医師公舎の改修計画の作成する。 c. 平成26年度より、医師が通常保育を利用している。 d. 医師事務作業補助者の充実を図り、医師の事務軽減を図っていきたい。 	自己評価
				—

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	医師数	(人)	46	52	54	47	C
	研修医数	(人)	9	7	8	6	C

4 職員の確保と意欲向上

(2) 看護師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育所の有効活用 b. 看護学生へのワークショップの継続 c. 修学資金制度の継続実施 d. スキルアップのための研究、研修会への参加支援 e. 確保・離職防止のための改善の検討強化 f. 看護学校へ講師派遣と実習生受入れの充実 g. 看護学生アルバイトのインターシップ化 h. 募集パンフレットの継続作成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育による育児時間短縮勤務を活用した看護師の早期復帰を継続中である。 b. 看護学生に対し、ワークショップを8月に開催した。 c. 修学資金制度を継続中である。 d. 積極的な研修参加の推進と参加支援を継続している。 e. フレックスタイムの活用や部署間の応援態勢を継続している。 f. 継続して実施している。 g. 継続中である。 h. 次年度の募集に向けてパンフレットを作成予定である。 	自己評価
				—

主な実績	項目		H24年度実績	H25年度実績	H26年度目標	H26年度(12月末)	推進状況
	奨学資金貸与者数	(人)	13	15	15	15	A
	年度末正規看護職員数	(人)	244	252	270	263	B

4 職員の確保と意欲向上

(3) 職員の意欲の向上				
主な取組目標	a. 職員満足度アンケートの実施(年2回) b. モチベーションアップチームの活動継続 c. 参加しやすい院内研修 d. 院外研修への参加支援 e. 西脇病院フェスタの継続実施 f. 「労働と看護の質向上のためのデータベース事業」への参加	取組状況	a. 年2回(7月,12月)の実施を予定している。 b. 職員満足度アンケートの実施、その他の活動内容の検討を継続する。 c. 岩井病院長による講演会(病院フェスタ時)を開催した。 d. 医療技術職や看護職など、各種研修会への参加を支援する。 e. 第6回病院フェスタ(7/19)を開催した。 f. 6月の事前説明会に2名が参加し、9月の事前研修会に3名が参加する。5つの入院棟が参加しデータ収集する予定である。	自己評価 —

5 再編・ネットワーク化

取 組 状 況	・相互医師派遣		自己 評価	
		西脇病院から派遣	西脇病院へ派遣	—
	多可町内診療所	内科(H23.2～)	—	
	多可赤十字病院	皮膚科(H23.1～) 血液浄化(H24.5～)	—	
	加東市民病院	皮膚科(H23.4～) 内科内視鏡(H26.4～)	血管外科(H21.4～)	
	県立柏原病院	放射線科(H20～) 精神科(H25.6～)	放射線科(H24.2～)	
・地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の本格運用を継続中				

